



寄せられた テーマ

星座ができた理由

濃厚

小学生も多い中、一部 大人の人の真剣な質問 への回答

星空案内をしたとします。1年生や未就学児(学校教育で習うであろう弟や妹さん)が参加する場面で、星や宇宙が大好きな大人の方も紛れ込んでいます。大人の方への質問に私なりに手短かに回答するとお子様たちは次々に？マークを頭の上に浮かべます。解説を長引かせるとイベント時間が終わってしまい、後日回答とすると興味が薄れている中での回答となるのでイベントの質が落ちます。大人と子供、どちらにレベルを合わせるか何時も迷いに迷い、イベント作成時には「公立小学校の



教科書レベル」とイベント告知サイトで明記しますがなかなか改善されません。明日香村という歴史が深い場所もあり、歴史ジャンルを含んだ質問も飛びますので、統一するのが難しいです。「どうする 星空案内人(ワタシ)(笑)」

望遠鏡！

望遠鏡の操作がわからない、あるいは特に月を望遠鏡でみせているときに、説明しながら望遠鏡を調整するのが大変。

「空の豊かさを守る」という SDGs のゴールがなぜないのか？

SDGs を学習したり、調べたりしたとき、そのゴールとして「海の豊かさを守る」と「陸の豊かさを守る」があるが「空の豊かさを守る」がないことに気づいて質問したと思われます。星空観望や天体研究をしている分野の方々にとって、光害の問題は深刻と思います。持続可能な開発目標としてあるべきと確かに思われます。WEB 情報を探してみましたが、なかなか答えが見つかりませんでした。最近はやりの CHATGPT を使って問い合わせをしても答えが見つからないという回答でした。また、そのゴールがなくても、そのほかのゴールで達成



できるという方も一部におられるようですが、天文関連の分野として直接的なゴールがあるべきではないかと思えます。IAU としてもゴール作成を推進すべきではないかと思えます。

年齢差の克服

年齢によって同じ質問でも答え方が異なるのが難しい（代理）

最新の宇宙論

宇宙論などはどれが最新なのか追いかけるのがわからない（代理）

宇宙人など

宇宙人など、わからないことをどんな話をすればよいかわからない

月の満ち欠け

私個人としては難しいのは案外月の満ち欠けの説明です。じっくり話ができれば丁寧に話をして理解していただくのですが、短い時間ですとわりとわかりにくいようで、宇宙空間から見た様子と地球で見た様子を結びつけるのが難しいようです。



太陽はなぜ輝くのか？

子ども科学電話相談で、とても多いのが「太陽はなぜ輝くのか？」という質問なのですが、この質問をするのが幼児が多く、核融合反応の話ができないので非常に困るところです。柴田先生でしたらどんな風にお答えになるのか今度教えていただきたいです。

ギリシャ神話と星座

星空案内で、星座を説明をするときに、「この星座は、ギリシャ神話ではこんな話があります」と紹介することがありますが、「ギリシャ神話の星座は、どう名付けられたのか？海洋国家なの海に関する名称が多いのか。」という質問を受けて、正しい答えが分かりませんでした。

「ギリシャ神話の星座」という表現自体が正しくないと思うのですが、

まず、神話の中で登場する名称を夜空に見える星座に結びつけたのか、または、夜空の星座を見て名称をつけて、それにまつわる神話を生み出したのか、どちらかが分かりませんでした。

そして、星座の名付け方は、例えば「動物」「物」であれば、星座の形と結びつけたのかなと想像しますが、「人の名前」となると、神の名前？と思ったり、しかし、アンドロメダ、ペルセウス、ケフェウス、、これらをどう名付けたのかは、調べても分かりませんでした。



望遠鏡などの観察機材 を使用しないで間を持 たせられるのか

・私自身が基本的に望遠鏡や双眼鏡で星を観るという訳ではないので、持っている機材と言ってもカメラ程度です。

・「星空案内人」という肩書きから、子ども会のリーダー（中学・高校生）研修で星空解説を依頼されることが多く、今までは運悪く天候に恵まれず（私にとっては恵まれていた？）フィールドワークとならず室内で MITAKA やステラナビゲーターなどのプラネタリウムソフトを使って講義をしていました。研修所には望遠鏡もある所もあるので晴れば惑星や月などを見せてあげられるのに、とはいつも思っていました。

・実際に望遠鏡も無い施設などでフィールドワークとなったときに、星空を観てもらっている時に約一時間、こういった資料などを準備しておけば間が持つのでしょうか。当面は星座早見盤自作キットを用意していますが。

・個人の状況としては、近傍に天文サークルなどが無く、まったくの一匹狼であること。

宙に星が見えていれば良いだけで、積極的な望遠観察は必要としていなかった。（つまり、望遠鏡などを購入するつもりも必要性も無かったし、いまさら年間1~2回の使用頻度の高額機材の購入を検討することも無いと思います。）

星座の位置、配置程度は分かるが、目で追えないため星雲・星団などは片手程度しか分からない。